

2007 年度

パリ高等商科大学 (ESCP) 交換留学生募集について

経済学部・商学部・大学院事務室

パリ高等商科大学 (Ecole Supérieure de Commerce de Paris、略称 ESCP) は19世紀初めに設立され、商学・経営学関係のグランド・ゼコールの中で最も古い歴史をもつ大学ですが、たえず改革をくりかえし、今日この分野の大学としてはトップクラスに位置づけられています。設置されている科目は、経営情報部門、会計・企業管理部門、金融部門、ビジネス外国語・国際コミュニケーション部門、マーケティング部門、法律・経済・社会科学部門、人的資源管理・組織論部門の7部門から非常に多岐にわたって提供され、それらを約90名の専任教員と500名の非常勤の先生（その多くは実務家やビジネス・コンサルタント）が担当しています。そして、多くの授業はケース・スタディを中心にしたディスカッション形式の少人数教育を特徴とし、アメリカのビジネス・スクールに近い教育システムがとられているとあってよいでしょう。また、学生数は1学年300名で、3年間で卒業しますので900名ということになりますが、それに外国人留学生やビジネスマンを多く受け入れていることもあって、登録学生数は現在約1400名とのことです。それでも中央大学の1つの学部の1学年の学生数より多少多い程度ですから、外国人留学生にとってフランス人学生と親密なつきあいが可能な大学です。

このような特徴をもつ ESCP と中央大学商学部および大学院商学研究科は、1982年11月に学生の交換を中心とする国際交流協定を締結しました。その後1987年秋に経済学部および大学院経済学研究科がこれに加わり、多くの学生がこの協定に基づき相互に交流してきました。中央大学からはこれまで54名の学生が派遣され、卒業後はその経験を活かしてさまざまな分野で活躍していますし、ESCP から44名の学生が本学で学んできました。

商学部・経済学部および大学院商学研究科・同経済学研究科は、こうした学生の交換留学が今後も引き続き発展するよう願っています。2007年9月から ESCP に交換留学生として派遣する学生の募集を下記のとおり実施します。EU（欧州連合）の中心国のひとつであるフランス、その首都にある ESCP でさまざまな国の学生とともに専門科目を学び、国際感覚を身に

つけようという意欲ある人はふるって応募してください。

募集要項

1. 留学期間 2007年9月から1年間
2. 留学生定員 2人
3. 応募資格
2006年度現在、経済学部・商学部の学生および大学院経済学研究科・同商学研究科の学生
4. 出願期間
2006年12月上旬
5. 出願先
経済学部生…経済学部事務室
商学部生…商学部事務室
大学院経済学研究科・商学研究科生…大学院事務室
6. 出願書類
(1) 国外留学願書（保証人連署）〔所定様式〕
(2) 成績証明書
*大学院生は学部の成績証明書も提出してください。
(3) 健康診断書〔保健センター等作成〕
(4) フランス語の能力を証明する書類（経済学部、経済学研究科のみ）
7. 選考方法・選考日時
詳細は追って連絡します

備考

- (1) この制度にもとづき留学する場合は、休学する必要はありません。ESCP で修得した単位 (credit) は、本学の単位に換算されます。ただし、30単位を超えることはできません。〔大学院においては10単位 (商学研究科の博士 (後期) 課程にあっては4単位)〕
留学する年度において出発時までに履修していた通年科目については、帰国後も継続履修できる制度があります。
- (2) ESCP の学費は免除されます。本学の学費は納入しなければなりません。申請により減額されることもあります。
- (3) 留学許可者に対する奨学金については、中央大学留学生奨学金 (2006年度は28万円) を申請により受けることができます。
- (4) パリでの住居は ESCP の学生寮 (数に限りがあります) の斡旋を受けることができます。

詳細は、経済学部事務室、商学部事務室、大学院事務室へ問い合わせてください。